

新千里東町地域自治協議会 第4回理事会開催案内

日程：8月17日（日）10：00～12：30

場所：東町会館2階集会室

議案：

1. 第3回理事会議事録の確認
2. 2014年度夏祭り実施要領
 - (1) 模擬店計画
 - (2) 本部業務
 - (3) 夏祭り反省会日程
3. 部会・委員会の活動報告
 - (1) まちづくり計画策定部会
 - (2) 防災部会
 - (3) 近隣センター移転計画対策委員会
 - (4) キャンドルロード準備委員会
4. 自治会・団体間の連絡と相談
5. その他報告と連絡
 - (1) テント管理要領について
 - (2) マスコットキャラクター公募の結果について
 - (3) 豊中市の自治会との意見交換会開催について
 - (4) 環境美化月間における美化啓発行事への協力をお願い
 - (5) 災害時帰宅困難者体験訓練について
6. **第5回理事会日程 9月21日（日）10：00～12：30 東町会館2階集会室**

以上

理事会出席者へのお願い

1. 理事自身をご出席頂けない場合は、必ず代理者の出席をお願い致します。
2. 理事各位は自治会・諸団体を代表する立場で理事会等に出席頂きます。この理事会での議論の内容を貴団体内関係者に周知頂くとともに、次回理事会議案の内、関わりのある案件については、貴団体内で話し合いの上ご出席ください。
3. 理事会等の会議は情報公開を基本としております。東町に関係のある人であれば、理事以外のどなたでも理事会等にオブザーバーとして出席頂くことができます。貴団体内で協議会活動に関心のある方に出席をお勧めください。
4. 理事会等で議論した内容は、奇数月発行の広報紙「ひがしおか」及び協議会専用ホームページ（higashimachi.jimdo.com）に掲載しますので、利用をお奨めください。

第3回新千里東町地域自治協議会理事会議事録

1. 日時 2014年7月20日(日) 10:00~13:30

2. 場所 新千里東町会館2階

3. 出席者

*役員：小川会長、赤井・河野・橋本各副会長、清水千・勝久両会計

*理事：総数20名中、出席者19名(上記役員6名を含む)

西田・今井(久乗理事代理)・倉垣・平石・呉・富田(萱野理事代理)・古橋
(以上自治会)、十河・水野・寺村・原・山地・清水博(以上諸団体)
欠席理事：下野

*監事：上田 欠席監事：桑原

*事務局：武藤・玉富・山田

*オブザーバー：太田(街角)、福岡(UR)、藤田・林・石塚(以上豊中市)

4. 議事

4-1 第2回理事会議事録の確認

・事前配布資料について説明、特段の意見なく了承された。

4-2 夏祭りの実施計画について

- ・協議会の全理事により、今年度の東町夏祭り実行委員会を立ち上げた。8月3日(日) 19時から東町会館で拡大実行委員会を開催し、具体的内容を説明する。
- ・今年度の予算に基づき、テント4張を追加購入する旨提案し了承された。夏祭りや災害時に使用するほか、東町の各団体への貸出しも行う。
- ・テントに入れる文字について、「新千里東町地域自治協議会」にした方が良いのではという意見もあり、最終的な判断は会長、事務局長があずかることとなった。
- ・模擬店の参加種目、当日の連絡担当者、当日の協力人数、材料の調達方法、テント貸与の希望、並びに担当分野に係る計画内容、事務局依頼事項等について、7月31日までに事務局に連絡願うこととした。
- ・豊寿荘(新千里西町)から地域貢献として自主出店への協力の申し出があり、受け入れを決定したが、日程が新千里西町の夏祭りと重なったため、今年の参加は見送りとなった。

4-3 各部会・委員会の体制と活動状況

(1) 広報部会

協議会ホームページの構成を見直し、リニューアルした。記事を掲載する場合は、各部会や委員会等の責任者が原稿を作成し、広報部会の担当者にお送り願いたい。

(2) まちづくり計画策定部会

千里中央地区のマンションに、協議会への参加を呼びかける依頼文書を届けた。また、東町の住民や自治会の交流、地元企業との協力関係づくりを目的に、10月25日(土)に「新千里東町キャンドルロード」を実施する。各自治会、環境委員会アダプト委員、防災部会、各自治会のこども会、東町老人クラブ連絡会、福祉委員会、民生児童委員、ダディーズ、体育協会などキャンドルロードの計画・運営の核になって頂きたい団体に加え、昨年度自主的に参加して頂いた公民分館、街角広場、ボーイスカウト、ガールスカウト、ラジオ体操グループなどに今回も

参加をお願いし、ここに新たに自主参加を表明する団体や公募委員も加え、8月8日に準備委員会を発足させ、具体的な準備に入ることとした。さらに、この第2弾としてセルシー広場でのクリスマスキャンドルの点火式への参加も併せて今後検討して行く。

(3) 防災部会

今年度の活動について、大阪市の防災センター見学や防災訓練の実施等の計画を決定した。総会にて予算枠が決定している防災マップの作成を防災計画に盛り込むよう部会長に伝言願うこととした。

(4) 環境委員会

5月と6月に実施したまち歩きの結果に基づいて、当面自分たちでできること、行政に対策を諮ること、継続検討する事項など、短期・長期の課題を整理した。

(5) 近隣センター移転計画対策委員会

7月の委員会にて新地区会館に対する要望の意見集約をはかった。

豊中市に対する要望の期日が8月31日なので、引き続き要望の集約をはかる。

グランドメゾンでは、建替計画案に対する意見を取りまとめるため、アンケート調査が実施され、有効な回答が得られた。現在、学識者の立場で参加頂いている鈴木教授の協力を得て近畿大学において分析中であり、次回委員会において報告できる予定。また、東町3-3においてもグランドメゾン同様、近隣センターに隣接する団地としてアンケート調査を実施し、回収した回答の分析を鈴木教授に本日お願いしたところである。

他の自治会においても、東町におけるまちづくりの視点を踏まえ、アンケート調査を依頼したい。

千里ニュータウン再生推進課に事業計画に関する説明会の開催と地区会館の現地建替えの可能性について確認したが、回答がない。

(6) 東丘コミュニティルーム運営委員会（配布資料）

コミュニティルームの維持管理に関する各団体の役割分担等を決定した。

4-4 その他

(1) 年間行事予定表を配布し説明した。

(2) 当協議会が申請していた本年度豊中市助成金の交付決定通知書を受け取った。

(3) グランドメゾン千里中央東丘に、新たに老人クラブが設立された。

(4) 9月8日（月）8時30分～9時30分に、東丘小学校の児童が校舎周辺の除草作業を行う。各団体の皆さん、作業への参加・協力をお願いします。

(5) 来年（2015年）12月5日（土）に第八中学校の50周年事業が実施されることになった。

5. 次回定例理事会：8月17日（日）10:00～12:30

以上

第14回まちづくり計画策定部会議事録

日時等：2014年8月1（金）19:00～21:20

出席者：清水、小川、今井、森、河野、水野、原、吉山、事務局：武藤（記録）

欠席者：呉、萱野、太田、福岡、十河

議事内容（司会進行清水部会長）

1. 報告事項

①ジェイグラン千里中央への協議会加入への働きかけ状況について

- ・管理会社「(株)JR西日本総合ビルサービス」を通じ、管理組合・自治会の立上げを依頼している。
- ・担当が立花氏から唐鍵（からがき）氏となった。
- ・現在の入居戸数 65 戸（販売戸数 140 戸）
- ・管理組合の設立は 9 月末～10 月を予定、9 月頃に協議を予定している。

*別件協議中に今後、勧誘話題として以下の 2 点を提供、提案することとなった。

- i. 車道新設に伴い東町の歩車分離地区対象から隔離される環境となり、学童の通学など歩道の安全性が確保されないこととなっている。

今後、この件については、豊中市の担当部署である都市計画推進部と今後協議して行くこと。

- ii. 新千里東町キャンドルロード（10月25日予定）への参加を依頼する。

②ザ・千里タワー、ザ・千里レジデンスへの働きかけ

- ・ザ・千里タワーの7月度の理事会では審議が充分できなかった由
- ・ザ・千里レジデンスは8月に理事会開催予定

上記の様に、両マンションでの進展はないがこれからである。

③東町近隣センターの移転について

- ・7月22日（火）の市議会で、代表質問として取り上げられた。
議員団「新政とよなか」の中蔵議員の質疑応答の要旨は次の通り。

*質問「東町近隣センターの移転建替えに当たっては地元の要望を良く聞かれない」と要望された。

*都市計画推進部半田部長から「出来るだけ地元の意見を聞くよう努力する」との回答。

*8月6日の近隣センター移転計画検討委員会開催時に、副議長として臨席した福岡議員から、詳細報告いただく予定であること。

2. 協議事項

①新千里東町キャンドルロードの協力依頼について

- *8月8日に開催する準備委員会の立上げのために委員を依頼募集していた。
- ・新聞「ひがしおか」の記事から応募された3名を含め7月末で16名の応募者あり。
- ・こども会（グラウンドメゾン・シテイハウス・ガーデンヒルズ）5名
- ・団体6名（老人クラブ連絡会・ボーイスカウト・ガールスカウト・防災部会・福祉・民生）
- ・自治会1名（シテイハウス）なお、桜ヶ丘は既に決定している旨報告あり。
- ・各自治会が自主的に参加するようだと状況判断意見が老人クラブ連絡会から出され、老人クラブとしては、各自治会の下で参加するとのこととなった。

- ・各自治会が積極的に参加し、互いに競い合う状況も想定されるとの意見もあったが、自治会での自主的行動に疑義の意見もあった。(老人会や子ども会の支援が必要)
- ・準備委員会への案内状は自治会長宛てにも参加依頼をする。
- ・コップへの絵描きは2団体で実施(福祉主催の食事会、ダデイズ主催のキャンプ)済み
- ・夏祭りでの絵描きコーナーを設置するが、(老人クラブ連絡会、メゾン3名、アーバンヒルズ4名、絵描き教室岡本さん)事前にその展示用として製作する。
- ・紙コップは1万個交流室倉庫に準備しているので、いろんな会合で自由に使用して貰う。
- ・キャンドルの設置場所について道路(もみじ橋通り、東丘小学校正門前通り、こぼれび通り)の外に核となる箇所が必要ではとの意見もあり。
- ・本部の設置は?飲食は?
- ・詳細は今後、準備委員会で検討して貰うこととする。

②道路標示「高齢者交通安全地区」の表示について

- ・老人クラブ連絡会で協議したが、今後とも安全のため継続して欲しいとの要望があった。
- ・現表示文字に「徐行」の文字を加えたらとの意見が出され、部会の意見として理事会に提案する。

③「認知症サポート養成講座」について

- ・10月25日(土)公民分館秋の講座として福祉委員会・民生児童委員共催で開催
- ・今後も継続して計画実施していく
- *介護支援する人たちへの支援が必要ではとの要望があった。
- *広報に対する方法では全戸配布が有効ではないかとの意見もあった。
- *潜在的な心身への困窮者に対しその相談対応できる制度存在を周知して貰う必要がある。
- *必要なチラシ配布などに対しては協議会でも費用負担を含め検討して行く。
- *ジェイグランへの担当民生委員の配置については、市へ要望はしているが最低300所帯が必要条件の現状では増員は無理である。

④1丁目対策の一環としてセルシー商店会と協同企画している事項について

- ・夏祭りでの景品としてセルシー商品券を2等賞として準備する。
- ・セルシー広場でのクリスマスツリーの点灯式(11月15日18:00~)での祭典に参加出来るよう調整、意見交換を行っていく。
- ・その参加後、長谷池周辺でコンサートを開催するプランもある。
- ・PRとしては「ひがしおか」へチラシの差し込みも可能では?
- ・直接セルシー側でアソカ幼稚園や自治会にチラシ配布などをして貰ったらとの意見も出されたが、セルシー側が協議会経由ということを期待していることもある。協議会として対応することが必要だということになった。
- ・今回実施するキャンドルロードの子ども会での協力も期待出来る。
- ・セルシー側では10万円の協賛金の申し出もある。
- ・ボランティアポイント、エコポイント、地域通貨の協同企画の発端としたい。

以上

次回の部会 9月5日(金) 19:00~ 交流室

第 20 回 新千里東町防災部会 会議録(7月 27 日)

【日 時】 2014 年（平成 26 年）7 月 27 日（日）10 時 15 分～11 時 45 分

【場 所】 新千里東町会館（東町近隣センター2 階）

【出席者】 河野希 (UR)、河野昭 (3 の 3)、北島 (アーバンライフ)

山地 (防犯)、今井 (福祉)、福岡 (UR)、小野・吉原 (シティハウス)、羽間・宮崎 (桜ヶ丘)、永見 (ガーデンヒルズ)、荻野・西川 (ジオメゾン)、小寺・近藤 (グランドメゾン)、石丸・千原 (3 の 3)、安藤 (ローレルコート) 計 18 人
山田・玉富 (事務局)、林 (コミュニティ政策室)

【決定事項】

- ・ 阿倍野防災センターの見学は、9 月 28 日（日）13 時から 100 分コース。出欠確認と集合場所・時間は、別途、書面を配布する。
- ・ 防災訓練は、文化祭と同日の 11 月 16 日（日）に、煙体験、消火訓練、救助訓練を中心に実施。各種団体にも協力を呼びかけていく。
- ・ 部会長、副部会長、事務局による「三役会議」を設置し、案件（防災マニュアル等）について事前に課題整理をする。

【案件と概要】

1. 各マンションの備蓄状況について

- 各マンションの備蓄状況は次のとおり（備蓄品の詳細は別紙参照）。

ジオメゾン	備蓄品無し。これから議論を始めるところである。
東町 3-3	備蓄品無し。防災センターの見学での体験をふまえて、どのような備蓄品が必要か検討したい。
UR 都市機構	発電機などの機材を備えている。食料品関係は、買い替えの問題もあり、備蓄していない。
桜ヶ丘メゾンシティ	保存水や機材等を備えている（予算約 200 万円）。買い替えについては、3 年から 5 年ごとに予算化していくことになる。
アーバンライフ	備蓄品無し。今後、必要性などについて調査・検討が必要。
シティハウス	建て替え時に、管理組合で機材等を整備した。食品や水については、保管場所の問題もあり、各家庭での備蓄としている。
グランドメゾン	非常用精製水機（1 日当たり 15 トン、4,800 人分）、マンホールトイレ、かまどスツール（普段はベンチとして使用）を備えている。
ガーデンヒルズ	備蓄品無し。以前にアルファ化米を備蓄していたが、賞味期限の到来時に試食して使用した。これから議論を始めていく予定。

2. 阿倍野防災センターの見学について

- 9 月 28 日（日）13 時から 100 分コースで見学し、団体向け修了証を発行してもらう。
- 現時点での出席予定者は 14 人。後日、出欠確認の書面を配布する。
- 市のマイクロバスが利用できるか確認する。電車の場合は、地域自治協議会が交通費

を負担する。

3. 防災訓練の実施内容について

- 煙体験、消火訓練、救助訓練（AED の使い方含む）の 3 点を中心に取り組む。文化祭と同日（11 月 16 日（日））に実施し、各種団体にも参加協力を呼びかけていく。
- （河野部会長から）
 - ・ 女性防火クラブには全面協力いただける。民生委員と福祉委員会には、安否確認訓練をできないか調整中。防犯支部にはパトロールを依頼したい。
 - ・ 集合の際は、昨年同様に避難訓練を兼ねて集まってもらうことを考えている。今年は車イスで避難するなど、弱者の視点も取り入れたい。

4. 東丘小学校内の備蓄倉庫の点検

- 校舎前（職員室下）にある防災資機材庫と体育館下にある備蓄倉庫を見学し、市所管の機材と、地域自治協議会が整備した機材・食料等の備蓄品をそれぞれ確認した。

5. その他（理事会からの質問について）

- 地域自治協議会理事会から、予算に計上されている「防災マニュアル印刷費」と「講座講師謝礼金」について、防災部会の今年度の活動計画に具体的な内容が記載されていないとの質問を受けた。
- 河野部会長から、「防災部会の担当者が毎年交代することから、昨年の課題を十分に引き継いでいない。一度にすべてのことはできないので、できることから少しずつ取り組んでいきたい」との説明があり、次のとおり取り扱うことが承認された。

<防災マニュアルについて>

三役会議（部会長、副部会長、事務局）を持ち、課題整理してから部会で検討する。

（この件に関する主な意見）

- ・ 過去に、野畑校区の事例を参考に防災マップを作ることが話し合われていたと聞いた。東町の場合は、2 年に 1 回全戸配布している「東町案内」の地図のページに、避難場所や AED の設置場所などを掲載することで、簡易な防災マップの役割を持たせることができる。
- ・ 桜ヶ丘防災委員会から、防災マニュアルを資料として提供しているので、参考にしてほしい。

<講座講師謝礼金について>

無理に予算を使う必要はない。市危機管理室に講師を依頼するなど、お金を使わなくてもできる方法で実施する。

【次回の会議（見学会）】

9 月 28 日（日）13 時～ 阿倍野防災センター（集合場所・時間は後日連絡）

8 月度近隣センター移転計画対策委員会議事録

日時：2014年8月6日（水）19:00～21:40 場所：東町会館1階集会室

出席者：小川委員長、水野副委員長（PTA）、河野（3-3）、河村（GM）、高野（福祉）、清水博（老連）、石丸（分館）、福岡（UR）

アドバイザー：太田（街角代表）、鈴木（近大教授）

事務局：山田

議事

1. 豊中市議会における関連の質疑応答について資料に基づき説明があった。

- ・当初のNT（ニュータウン）再生推進課の説明が地権者サイドに立つ計画を既成事実化し、変えようがないとの姿勢を示していたが、これまでの間、何度も地域自治協議会が周辺住民のニーズを主張してきた結果、議員の質問に対する回答をみると相当な変化が感じられる。良いまちづくりのためには粘り強い対応が必要。
- ・委員はこれをよく読んで、疑問などあればメールでやり取りすることとした。
- ・市や府に文書で地域の要望を伝えることが重要とのアドバイスがあり、太田さんの協力を得て早急にアンケート結果などを反映させて対処することとした。

2. 前回委員会以降の活動報告

- ・アソカ幼稚園の職員・保護者の意見を聴するため、アンケート調査を実施することについて園長の理解を得た。文言について園長に照会中。
- ・NT再生推進課に対し、小川委員長より住民説明会の開催を早急に設定するよう要請したところ、準備組合の理事会開催をまって日程調整するとの回答を得ている由。
- ・大阪府まちづくり部戸田建築企画課長（所管部署ではない）に鈴木教授が面会し、話をした中では、豊中市が進めようとしている建替え事業に関しニュータウン再生指針の例外扱いは無理がある、重視するべきとの感触を得た。
- ・グランドメゾン、府営住宅のアンケート調査結果（単純集計段階のもの）について資料に基づき説明があった。近隣センター建替え計画についての住民説明が必要であることや歩行者ネットワークの尊重など、当委員会の意見の妥当性を裏付ける回答であった。
- ・他の自治会に対しアンケートの実施を要請することとした（OPHは実施済み）。
- ・新しい近隣センターに対し住民が期待する店舗などをアンケート調査で把握し、準備組合側に示すことも肝要。第2ステップで実施することとなった。

3. 近隣センター建替えに係る新地区会館計画について

- ・前回の福祉委員会から提示された計画と説明について次のような質疑応答があり、意見を踏まえた修正案をまとめ、広く諸団体、自治会の意見を聴し、要望としてまとめることとした。

この問題の重要性に鑑みると住民全体に参加をよびかけワークショップを開催することも検討することとした。

*福祉委員会専用の月に1～2回しか利用しない厨房の計画は、費用対効果からみて合理性がない。高齢者、独居者が増加する社会における食事に対する住民ニーズは毎日の低価格の配食であり、或いは手軽に食事できることである。

街角広場との隣接、調理を外部専門家に委託する（住民の雇用機会の創出）などを検討することとした。

*交流室は外部から見え易く、入りやすい場所が適当。

*なんでも相談室は、訪れることを第3者に見られたくないとの心理を考慮し、奥まった場所に配置した方がよい。

*集会室は、多目的な利用に耐えるフレキシブルな構造を考える、畳敷きの和室という形ではなく、母親と乳幼児の集まりなどに対応できるように、床に弾力性に富む敷物を簡単に設置して、必要な時だけ変更して利用する方法を検討する。

*集会室の現状の面積は、100名が限界であるが、住民参加を重視する地域自治事業を考慮し150名程度の利用可能なスペースを考慮する。

*ストックエリアは外部に面した一等地になくてもよく、建物全体の中心部に生じるデッドスペースを使うことを検討する。

*まちかど広場、東町交流室部分など住民の希望をいれると、現状の実質（柱芯から柱芯）300㎡では不足するので、50㎡ぐらいの増加を豊中市へ要望する必要がある。

*なお、この計画には介護に関連する機能が検討されていないので別途検討が必要。

- ・住民に建替え計画を示す時期にあるので、「ひがしおか」9月1日号で概要を示し、近隣センターに関するざっくりした住民の意見を聴くこととした。

4. ニュータウン再生における諸問題

- ・これまでのNT再生推進室の進め方に疑問を感じた河村氏より資料に基づき現状分析がなされた。

5. 次回委員会 9月3日（水） 19:00～ 東町会館1階集会室

以上

新千里東町地域自治協議会テント管理要領 (2014. 8. 17)

	大型 (ワンタッチテント KA-8WA)	中型 (ワンタッチテント KA-7WA)		小型 (ワンタッチテント KA-6WA)	
	数	1	3	2	6
購入時期	2014年3月	2014年3月	2014年8月	4:2013年7月	2:2014年8月
幅×奥行	6.0W×3.0D	4.5W×3.0D	4.5W×3.0D	3.0W×3.0D	
屋根色	赤	青	青	白	
文字	東 町 防 災 屋根 2ヶ所	なし	なし	なし	
フレーム	オールアルミ製一体型	オールアルミ製一体型	オールアルミ製一体型	オールアルミ製一体型	
横幕	四方幕(白)	三方幕(白)	なし	なし	
横幕サイズ	6.0W×2.2H と 3.0W×2.2H	4.5W×2.2H と 3.0W×2.2H	—	—	
主な用途	・災害対策本部用 (医療救護等を行うことを想定し、 周囲全部を囲う横幕取り付け可)	・防災活動用 (災害時に風雨を避けるため 横と背に横幕取り付け可) ・一般催し物用(貸出し)	・防災活動用 ・一般催し物用(貸出し)	・防災活動用 ・一般催し物用(貸出し)	
管理	所在不明とならないようテントそれぞれの支柱2本に「新千里東町地域自治協議会」標識を取り付ける	同左	同左	同左	
保管場所	東丘小体育館舞台下防災倉庫	東丘小体育館舞台下防災倉庫	防災資機材庫	防災資機材庫	

* テント運搬専用キャリー2台…防災資機材庫に保管

* 加重プレート4セット…防災資機材庫に保管

第1回新千里東町キャンドルロード実行委員会議事録

1. 開催日時:平成24年8月8日(金)19:00~20:30

2. 場所 :東町会館1F集会室

3. 参加者 :26名他幼児2名引率

①日高 孝子(グランドメゾン子ども会)②岩崎 悦子(シティハウス千里中央自治会)③久乗 里栄(シティハウス千里中央こども会)④清水 博文(東町老人クラブ連絡会)⑤仲平 郁代(書道クラブ)⑥川上 良(日本ボーイスカウト豊中第14団)⑦川辺 初美(ガールスカウト大阪府第61団)⑧北島 和久(防災部会)⑨草場 裕子(ガーデンヒルズ千里中央子ども会)⑩吉山 妙子(東丘民生児童委員)⑪前 綾子(個人)⑫河井 洋子(個人)⑬羽間 陽子(新千里桜ヶ丘自治会)⑭勝久 恭子(新千里桜ヶ丘自治会)⑮弓崎 弘美(新千里東町UR自治会)⑯福岡 鈴子(あじさいを咲かせる会)⑰長尾 道江(公民分館)⑱早田 州子(公民分館)⑲尾上 昭子(ガーデンヒルズ千里中央オリーブの会)⑳岡田 睦子(メゾン千里子ども会)㉑河野昭一(東町3-3自治会)㉒倉垣 孝夫(ガーデンヒルズ千里中央自治会)㉓橋本 宏三(ローレルコートあかしの丘自治会)㉔小川 浩一(地域自治協議会会長)㉕山田 秀樹(協議会事務局長)㉖武藤 正治(協議会事務局記録)

参考資料. 配布資料 :議案書、工程表、名簿

4. 会議内容

①準備委員会開催の趣旨説明(武藤・小川)

- ・主催者側として東町キャンドルロードの開催に至った経緯説明
- ・協議会主催ではあるが、各自治会や団体に強制するようなイベントとしないことでスタートしていること
- ・東町のコミュニティの活性化が主目的であること、そのためには自主的な参加意思に基づいた動機づけに基づき募集したこと
- ・その結果、準備委員の募集で30人以上が応募頂き今日の参加者であること

②委員各自の自己紹介(参加者全員)

- ・昨年のキャンドルに参加し、良い経験であったし感動したので参加したひと
- ・自治会からの話に基づいて参加されたひと
- ・子ども会からの参加であるが、限られた範囲で参加したいグループ
- ・後片付けが大変であった経験から、そのことが大切であると認識しているひと
- ・何もわからない状態であるひと

など参加者にキャンドルロードイベントへの理解度に温度差があることが認識された。

③役員の互選

実行委員会として自主運営スタートするには、これまでの活動経験に捉われない新たなメンバー構成して頂きたいとの意向説明打診であったが、人選は旨く進まず協議会会長の小川委員長、武藤事務局、福岡鈴子推薦の声もあったが以下の人選となった。

委員長:武藤 正治、副委員長:福岡 鈴子、小川 浩一、会計:勝久 恭子が選出された。

④実施場所

- ・東町周遊コース(アダプト清掃道路)とイベント箇所(もくせい公園周辺、てによこ広場など)
 - ・3-3、新たなジェイグラン千里中央の界隈について
- 他にUR近辺に千里竹の会に竹製の箇所を希望する案もあった。
場所については次回までに自分たちの実施できる場所範囲や希望案を持ち寄って貰う。

⑤お絵かきコップの作成

- ・並べる紙コップに絵や文字など個人が自由に書き込み彩色したコップを作って貰う。
既に、実施したグループ主催の会合やイベントで実施済みのものとして200個以上となっている。
 - ・福祉委員会、民生児童委員の食事会
 - ・ダデイズ主催の小学校でのカレー・キャンプ
これから予定されている全体行事として
 - ・夏祭り(8月23日)、・敬老の集い(9月13日)、・地区運動会(10月5日)、学習塾などや各自治会・
団体主催のイベントなどで自由に集めてもらう。
必要な紙コップ、サインペンなど交流室に1万個準備保管されている。
- * 夏祭り際には、希望設置箇所別に集める工夫をしたいとの意見もあった。
自分の描いた物がどこにあるのか?と昨年も聞かれ、困ったとの体験意見もあった。

⑥昨年のこぼれ日通りでの実施映像を次回見て貰い、初めての方の参考にする。

⑦こぼれび通り、もみじ橋通りの交通整理など事前の準備が必要である。

⑧行政への申請は絶対必要である。

⑨飲食についての希望もあった。(街角広場のオープン?、猫の手のパンなど)

次回開催8月30日(土)10:00~ 新千里東町会館2F

以上